

本定例会会期中に各常任委員会を開催し、平成22年度決算等、付託案件の審査を行いました。各常任委員会の審査概要は次のとおりです。

総務文教常任委員会

決算認定審査における主な質疑・応答

質問 公債費、例えば合併特例債で見ても、金融機関、償還期間などによって利率が異なっている。低利率のものの利用等の工夫はできないものか。

答弁 借換債については借換え前の金融機関を優先しているが、金利の差は検討する必要があると思う。今後は考慮したい。

質問 日本一の子どもづくりというスローガンの中、民営保育園も非常に努力しているが、支援策は公立と差があるように思うが。

答弁 民営保育園の経営は、園児の減少により厳しい状況になっているので、県内20市の状況等を見ながら支援策を講じていきたい。

質問 糸魚川小学校改築関連の3工事の落札率がいずれも高い。予算内に過度の内容を詰め込む

など、市の積算に問題があるのではないか。

答弁 設計内容は華美にならないようにしている。積算は問題ないと考えているが、現校舎等の撤去と建築が交錯する複雑な工程等により施工者の負担も大きいと聞いており、施工に際しては、市、受注者、設計者の3者で十分協議を行う考えである。

【委員会における意見の集約】

議案第98号から101号及び第113号の契約案件において、良好な学校施設の建設と、地域産業振興に適切な効果を発揮する公共投資という2点において、より効果的な事業執行を行うために、設計委託先に地元設計業者育成への配慮を含めた適正な業者選定と、設計内容・積算内容の厳格な審査を行うことを強く求める。

補正予算審査における主な質疑・応答

質問 市民会館のリニューアルについて、利用者や議会の意見をどう反映していくのか。

答弁 一般利用者や庁内の意見をとりまとめ、当委員会に諮る中で色々な意見を聞き、耐震改修やリニューアルの計画を進めていく考えである。

建設産業常任委員会

決算認定審査における主な質疑・応答

質問 中小企業支援事業の「信用保証料補給金」が約4割減少しているが、その理由は。

答弁 信用保証料は、融資額に呼応して増減があるが、昨年度の融資実績が平成21年度より少なくなったことによるものである。昨年秋季から政府の信用保証における融資が一巡したことが理由と考えている。

質問 中央大通り線(白馬通り(国道148号))は、新幹線開業の平成26年度までに完成するのか。

答弁 この県事業は平成21年度によりやく事業認可となり、事業着手から今年で3年目となるが、予算ベースの進捗よく率はまだ2割程度である。先日、県議会が新幹線関係の視察で来市したところでも、県議会に強く要望したところである。

質問 2級河川の草刈の費用について、県の補助はないのか。

答弁 2級河川には、県からの補助はない。なお、草刈は各地区の団体で行っているところもある。

補正予算審査における主な質疑・応答

質問 シャルマン火打スキー場のクワッドリフトの索受け設備の損傷について、今後もしょういう可能性はあるのか。

答弁 年々、部品の交換や調整も増えてきている状況であることから、運輸局の指導を受け、今回、全体の調整作業を補正予算で実施したいものである。今後、損傷等の可能性は否定できないが、今回、しっかりと調整を行いたい。

質問 駅前通り(県道糸魚川停車場線)のアーケードの撤去は国の補助で実施するということが、新しいアーケードの完成の目的はどうか。

答弁 アーケードの再築は平成26年度の予定とされている。今年度、アーケードを撤去した後、県が事業主体となって電線の地中化等の工事を平成24・25年度に行い、その間にアーケードの具体的な設計が進められる予定である。